

地球温暖化防止実行計画

平成 21 年 10 月

川栄工業株式会社

1. 事業内容

- ・ 公共事業並びに民間企業における、土木工事一式
- ・ 河川工事
- ・ 道路築造
- ・ 下水道工事、ガス：水道工事

2. 計画の目的

- ・ 私達が実施する土木工事において、地球環境の保全の重要性を認識して、その役割を果たし、自然環境への還元と融和を第一に考える企業を目指す。省エネルギーに取り組み地球温暖化防止に努める。

3. 計画期間

- ・ 平成 22 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

4. 計画の範囲

この計画の範囲とする事業活動は次のとおりとする。

【活動】

- ・ 本社で排出される二酸化炭素
- ・ 現場重機から排出される二酸化炭素

【適用】

- ・ 川栄工業株式会社（金沢市戸水二丁目 2 4 番地）.
- ・ 各現場

5. 温室効果ガスの排出量の現況

(1) 基準年度（平成 20 年度）の温室効果ガス排出状況

項目	使用量	二酸化炭素排出量	排出割合
ガソリン	64,416ℓ	149,445 kg	83.3%
軽油	6,626ℓ	17,360 kg	9.7%
液化天然ガス	516 kg	1,387 kg	0.8%
都市ガス	342m ³	797 kg	0.4%
電気使用量	18,732kwh	10,396 kg	5.8%
計		179,385 kg	100%

(2) 温室効果ガス排出原因分析

- ・ 当社の事業活動における、温室効果ガスの排出原因は、通勤・現場移動時における車のガソリン及び重機の使用にある。

6. コピー用紙、水道使用量の現況

(1) 基準年度(平成20年度)コピー用紙の購入量

サイズ	使用量
A 4	60,905 枚
A 3	6,767 枚
B 5	0 枚
B 4	0 枚

(2) 基準年度(平成20年度)水道使用量の現況

76m³

7. 二酸化炭素排出量等の削減目標

平成20年度の排出量を基準として削減目標を次のとおり設定する。

項目	平成20年度	平成26年度	削減目標
二酸化炭素排出量	179,385 kg	143,508 kg	20%

8. 削減のための取り組み

> 電気使用量の削減

- ・こまめに必要ない所の照明を消す。
- ・現在実施中の昼時間の消灯の再度の徹底。
- ・外出時のパソコン電源のOFF。
- ・事務所の照明を個別にして、空席時の消灯を徹底する。
- ・机の配置換え使用部屋数を減らす。

> ガソリン使用量の削減

- ・アイドリングストップ運動の実施
- ・現場移動時は出来るだけ相乗りを実施、移動時の車の台数を減らす。

> 軽油使用量の削減

- ・現場作業時、作業して無い時はこまめにエンジンをストップする。
- ・負荷の掛からない様、適切な工程を組、適正な機械使用する。

9 . その他の環境対策

(1) 紙・水使用量の削減

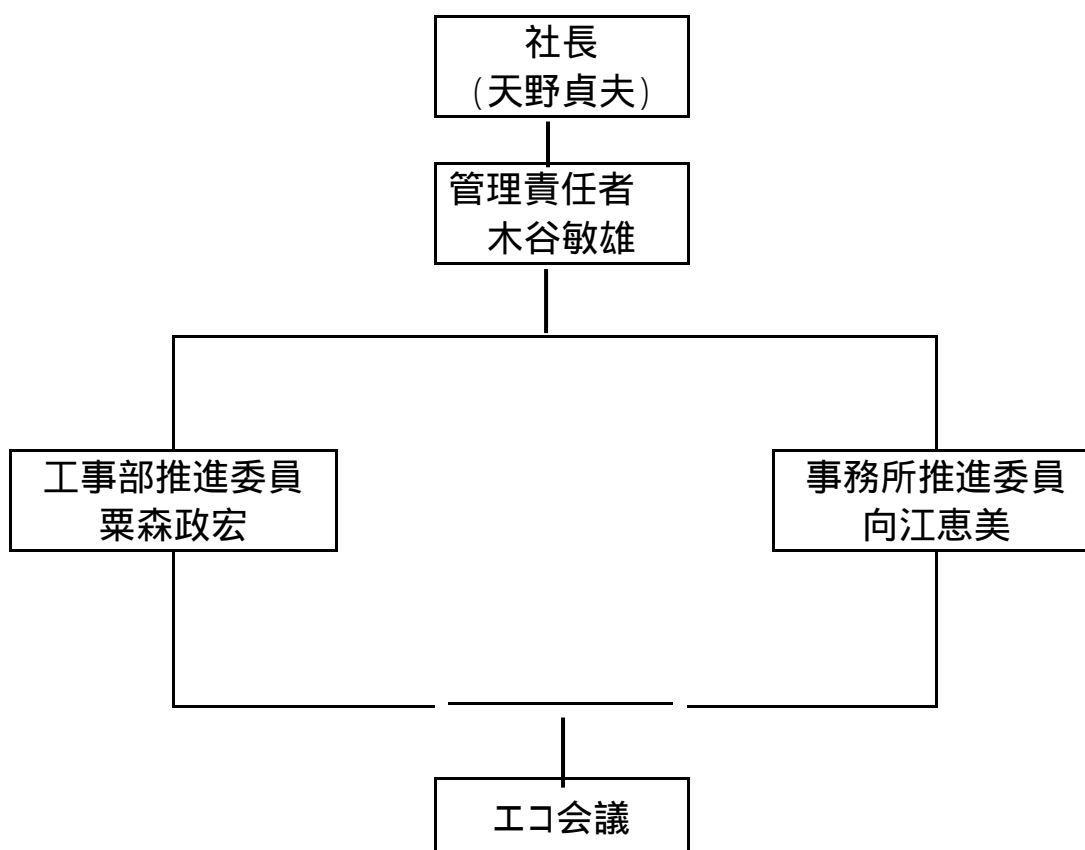
- ・両面コピーの使用の再度の徹底。
- ・使用出来なく成った紙及びチラシ類は、資源回収等でリサイクルする、ゴミ箱に紙類は捨てない様徹底する。

(2) 廃棄物の削減

- ・分別、資源回収リサイクル促進を図る。
- ・出来るだけエコ商品を購入し廃棄物を出さないようにする。
- ・容器リサイクル法の理解と推進。

10 . 計画の推進体制

(1) 組織



(2) 社員への研修

- ・ 本会議 金沢エコ推進事業者ネットワーク議事録の回覧。
- ・ 毎月使用量作成回覧エコの意識向上。
- ・ クールビズ、ウォームビズ 本年度から導入する事にした。
- ・ 冷暖房の設定温度の見直し。